

## 第 88 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ : 樹林環境の順応的管理 —

8月の現場研修会も、皆伐更新した森林の順応的管理を行いました。  
湿生生態園での水辺環境の順応的管理は雨のため来月に延期しました。



谷戸山公園は、朝からヒグラシの大合唱と雷鳴に包まれていました。  
今日一日雨が降らないことを願いつつ、現場に移動です。



講師から本日の作業内容の説明です。  
午前中は更新阻害植物の駆除・除去、落葉高木種の目印つけ、  
イヌシデ・エゴノキなどの株立ち整理を行います。



左の写真はエゴノキです。コナラ・エゴノキ・イヌシデなどが  
皆伐更新区域の構成主要木になります。  
斜めに生えてきている幹などを除き、太く真っ直ぐ生えている幹を約4～5本残し、  
今後順調に成長してもらうために整理をしていきます。



こちらはウワミズザクラです。  
今後の成長状態により、幹の本数をさらに減らして整理していきます。



明るい雑木林を目指す為に、今回から、アカメガシワ・カラスザンショウ・ハリエンジュの他に常緑樹のヒサカキ・シラカシも除去します。

しかし、更新阻害植物全てを除去するのではなく、全体の階層構造（高木、亜高木、低木など）を見ていきながら残していくもの、残さないものを今後決めていきます



急に大雨が降ってきてしまったので、作業は一旦中止です。

お昼休みをとりつつ、雨が止むのを待ちます。

公園内にヤブミョウガを見つけました。白い小さな花と紫の種のコントラストがとても綺麗でした。



雨も止んだので作業再開です。

午後の湿生生態園での作業を変更し、午前中途中になってしまった、皆伐更新地区での作業を引き続き行います。



先月はコナラの実生に白いビニールテープで印をつけていきましたが、  
今回はイヌシデの実生に青テープ、その他の落葉高木種の実生に赤テープで印をつけていきます



白、赤、青の目印がつけられ、皆伐更新地区はちょっとしたお祭りの風景に見えます。  
これで、コナラ・イヌシデ・その他の落葉高木樹の位置が確認しやすくなりました。



目印つけの作業の後は、植生調査（草本）を行いました。

1人5種、草本を集め講師に報告しにいきます。

ガガイモ、タケニグサなど約35種の草本を確認できました。



ノアザミ同定ポイントに「総苞片は粘液がでていくっつく」とあったので、指につけてみました。見事にくっきましたね。



カブトムシ（メス）

タマムシ

今月の谷戸山研修で見られた生きものたちです。

タマムシは太陽の光を浴びて遠くからでもすぐに発見できました。

宝石のように美しいと言われるのも納得です。



これで本日の研修は終了です。

来月は、皆伐更新地区での順応的管理と、湿生生態園での水辺環境の順応的管理を行う予定です。  
来月は懇親会も行う予定です。  
講師や参加者の方たちとじっくりお話しできる貴重な機会にもなりますので、是非ご参加ください。